

マザークラス

マザークラスが11月12日土曜日14時から開催されます。マザークラスとは、お子様と一緒に参加できる楽しいイベントになっております。

参加費は無料となっております。

ちょっとしたプレゼントもありますので、

是非ご参加ください。

詳しくは受付にて！！



ブログ更新中♪

中田歯科クリニック・デンタルクリニックTAKANNA 合同ブログになりました♪是非ご覧下さい★

<http://nakata-dental.jugem.jp>



右京区で開業されています、堤洋之先生にご講演して頂きました！

とっても勉強になり、楽しい時間を送ることができました！

歯あとふるこみゆにけいしよんず

2011・秋号



こんにちは♪♪

歯とふるこみゆにけしよんず 2011年秋号が完成いたしました！！！！

今回の担当は上嶋・植西・池上です。

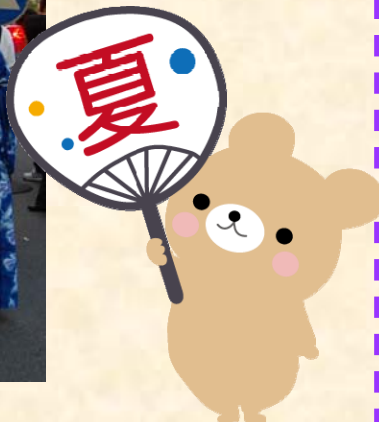
今年も残すところあと3ヶ月
まだまだ暑い日が続きますので実感はありませんね。

みなさんはどんな秋にしたいですか？



祇園祭りイベント

7月15日宵山にみんなで
浴衣を着てうちわ配りをしました★



レントゲン撮影について『先生、歯のX線検査って大丈夫??』

新聞やテレビの報道で、時折放射能漏れなどという見出しを見聞きして、背筋が寒くなることがあります。そういえば健康診断や歯医者さんでするX線検査って放射線を使っているはずだけど、言葉だけ聞くと放射能と放射線もよく似ていて、どこが違うのかわからない。どんなふうに関係なのかわからない…。たまたま、歯医者さんでX線写真を撮ったばかりだったりしますと、なんだかちょっと不安な気持ちになるかもしれません。特に、これから赤ちゃんを産む女性の場合は、お子さんへの影響があるのか心配でしょう。しかし、X線撮影は、肉眼では見えない身体の内部を調べる為に必要不可欠な検査です。しかも、そのために浴びる放射線は、身体には影響のない無視できる微量なものなのです。

Q1、放射線と放射能は違うの??

A、違います。放射線と放射能はよく混同して使われていますが、電灯にたとえてみると理解しやすくなります。電球からでる光が放射線、電球が光を出す働きが放射能、そして電球そのものが放射線物質です。

Q2、普通に暮らしていても、いつも放射線を浴びているって、本当??

A、本当です。人は常に、宇宙空間や、太陽、大地や大気、建物や食べ物から出る自然の放射線を浴びています。しかし、この自然放射線はごく微量なので、人体に悪い影響を及ぼすことはありません。人は太古の昔から常に、環境中に存在する放射線を浴びています。この放射線を自然放射線と呼び、日本では年間2, 4mSvくらい浴びています。

Q3、歯のX線検査で、X線を浴びても大丈夫なの??

A、歯の検査のためのX線撮影程度では、X線による障害はおこりません。ただ、妊婦のかたや妊娠可能な女性、小さいお子さんは、より安全を期するためにX線を通さない鉛製の防護エプロンをつけていただくことがあります。つけなくても問題ありません。

Q4、デンタル写真10枚とパノラマ写真1枚を一度に撮影したら、X線の浴びすぎでガンになるの??

歯のX線撮影で身体に浴びるX線の量はごくわずかで、ガンのなる危険性も無視できる小さい値です。今までに障害が起きた報告もありません。さらに、X線を通さない防護エプロンをつければまったく安心ですが、つけなくて問題はなりません。

Q5、妊娠しているのに気がつかないでX線撮影をしても、大丈夫??

歯のX線検査では、心配ありませんが、胃腸検査のほうは比較的、生殖腺にX線を浴びる可能性が高いので、十分な注意が必要です。

実効線量比較

世界平均1人当たりの自然放射による被曝<年間> **2, 4mSv**

日本平均自然放射による被曝<年間> **1, 4mSv**

フィルム撮影、デンタルX線撮影 **0, 01~0, 03mSv**

フィルム撮影、パノラマX線撮影 **0, 02mSv**

比較してみると、歯科で撮影するレントゲン撮影はごく少量の放射線であることがわかります。